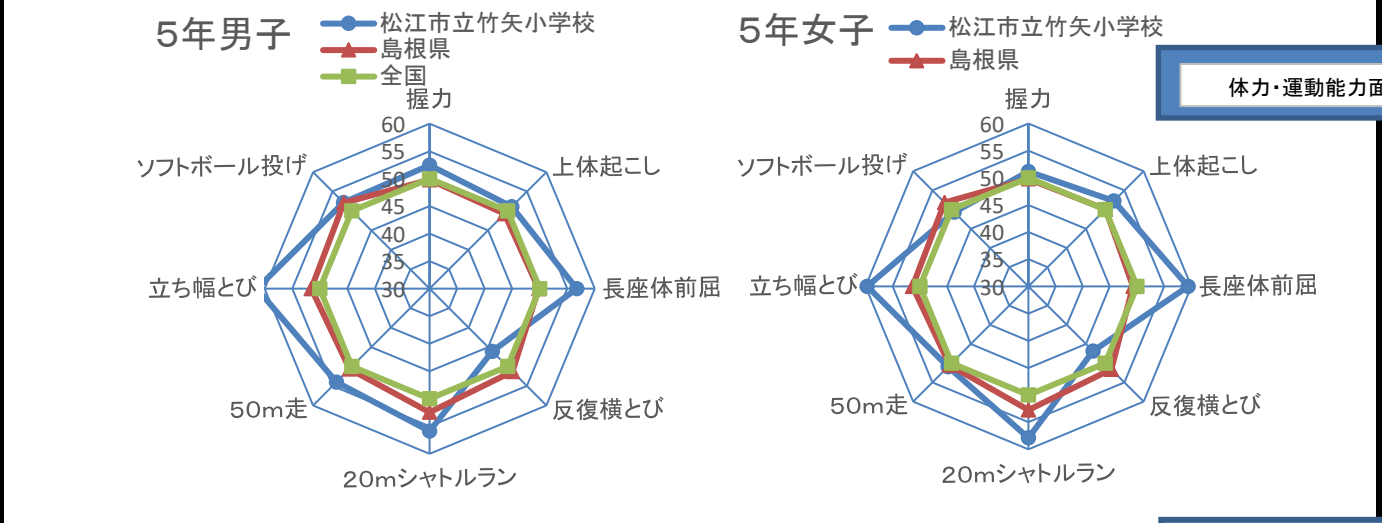
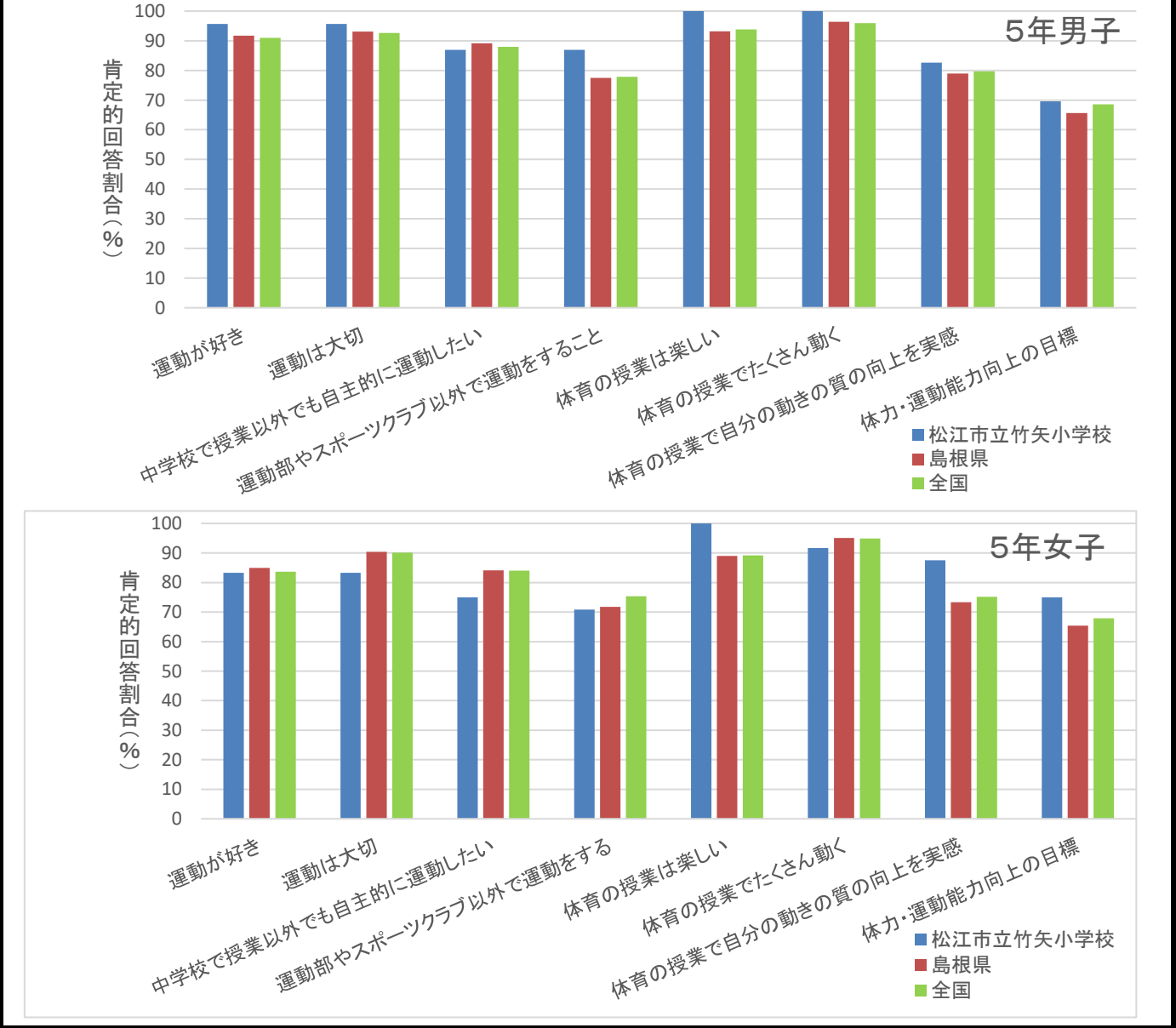


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「立ち幅跳び」「長座体前屈」が全国平均を上回っている。特に「瞬発力」「柔軟性」が強み。 ○女子でも「立ち幅跳び」「長座体前屈」が全国平均を上回っている。特に「瞬発力」「柔軟性」が強み。
課題
●男子では「反復横跳び」が全国平均を下回り、特に「敏捷性」が課題。 ●女子でも「反復横跳び」において全国平均を下回り、特に「敏捷性」が課題。
次年度の対策
○5時間目が始まる前の時間に姿勢体操を行い、柔軟性を高める運動を継続的に取り入れる。 ○学期に一回、シャトルランを行い、体力の向上に努める。 ○年度初めに、本校の課題として、男女共に、敏捷性に課題があることを共通理解し、体育の授業に取り組むようにする。

② 意識面

強み
○男子では「運動が好き」の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では「体育の授業は楽しい」の割合が全国平均よりも高い
課題
●男子では「中学校でも授業でも自主的に運動したい」の割合が全国平均よりも低い。 ●女子では「運動が好き」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○めあての提示を行うことで、何ができるようになればいいのかが明確にし、学習の最後に充実したふりかえりを行うことで、今後につなげることができるようにする。 ○体育委員会を中心に体育イベントを企画し、運動への関心を高める。 ○ボールや一輪車などを整備し、休み時間に子どもたちが運動できる環境を整える。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・コロナ禍で、接触する競技が難しかったので、ベースボール型の競技ができるよう、ティーボールの道具を購入し、環境を整えた。令和4年度は、どの学年も行えるように、道具やルールについて研修を行いたいと考える。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
・本校の体育授業のルール(めあての提示、振り返りの実施、五種目歩走の記録)について共通理解をはかる。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
・姿勢体操
・縄跳び大会
・委員会を中心とした企画(リレー大会や玉入れ大会など)
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・学校ホームページや学年、学級だよりで体育的活動について発信を行う。